

Digital Content EXPO 2012

参加のご案内



Digital Content EXPO 2012

2012/10/25 Thu - 27 Sat

会場：日本科学未来館

主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会

事業概要

コンピュータ技術の発展と足並みを合わせて成長を遂げてきたデジタルコンテンツは、ゲームやアニメなどの産業を発展させるとともに、芸術表現の場として新たな文化を生み出してきました。

コンピュータグラフィックスやバーチャルリアリティなどの関連技術は、コンテンツ産業の発展を牽引するだけでなく、医療やバイオなど多彩な分野へも応用の幅を広げています。

デジタルコンテンツ EXPO は、こうしたデジタルコンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、企業関係者等が参加し、最新の情報を交換しながら、デジタルコンテンツ産業の5年10年先の将来像を描き出す国際的イベントです。

名称： デジタルコンテンツ EXPO 2012
Digital Content EXPO 2012

会期： 2012年10月25日(木)～27日(土)

会場： 日本科学未来館
東京都江東区青海2-3-6
<http://www.miraikan.jst.go.jp/>

主催： 一般財団法人デジタルコンテンツ協会

Concept

デジタルイノベーションの架け橋 Bridge for digital innovation

販売促進を目的とした展示会や見本市では、会場を華やかに彩る企業の展示ブースとそこで発表される新製品が花形ですが、デジタルコンテンツ EXPO では、製品化以前の研究開発段階にあるシーズ技術やプロトタイプシステムが主役です。

大学や研究機関で生み出される新技術の中には、製品化に至らずに姿を消してしまうものも少なくありません。こうした現象はたびたび“死の谷”と表現されています。この“死の谷”を克服するためには、谷の両側の住民が頻りに往来し交流することのできる架け橋が必要です。

デジタルコンテンツ EXPO では、世界の先端技術が一堂に会し、研究者と企業とクリエイターが、それぞれの立場からこれらの技術の可能性を考え、社会にイノベーションの姿を提示することで、“死の谷”を克服する架け橋の役割を果たします。

参加をお薦めする理由

一般財団法人デジタルコンテンツ協会が主催する信頼性の高いイベントです。

一般財団法人デジタルコンテンツ協会は、76の企業・団体を会員に持つ業界最大級の機関で、経済産業省の政策を背景に、コンテンツ産業の調査・統計、デジタルコンテンツ白書の発行、コンテンツ関連技術の調査研究・実証事業、技術戦略マップ（コンテンツ分野）のとりまとめ、産学官連携による啓蒙普及イベントの実施、国際交流・国際展開支援などを行っています。

世界の第一線で活躍する研究者、技術者、クリエイターが数多く参加し、新たなネットワークを育む機会に満ちたイベントです。

デジタルコンテンツイベントの実行委員をはじめ、シンポジウムやワークショップの講演者や展示物の開発者の中には、世界の第一線で活躍する研究者や技術者、クリエイターなどが数多く参加しており、このイベントに参加することで、こうした人々とのネットワークを育む機会に恵まれます。

参加に係る負担が小さく、大企業でなくともベンチャー企業や研究部門だけでも参加できます。

大規模な展示会や見本市は出展料や出展ブースの造作にかかる費用が膨大。しかし、デジタルコンテンツ EXPO は参加に係る負担が小さくて済みます。これは、コンセプトでも説明しているように、製品化の前の研究開発段階のシーズ技術やプロトタイプシステムを出展してもらうためには、広報宣伝費や販促費などが使えない研究部門や大学、ベンチャー企業などでも無理なく参加できる出展条件とすることが不可欠と考えているためです。

昨年の来場者は 20,516 人。DCEXPO TV (USTREAM) でも視聴され、情報感度の高い層に優れた訴求効果を発揮します。

昨年のデジタルコンテンツ EXPO では 3 日間で延べ 20,516 人が会場に訪れました。また、USTREAM を活用してシンポジウムや展示の様子をリアルタイム配信した DCEXPO TV では優れた情報発信効果を発揮しました。来場者や視聴者の多くは、デジタルコンテンツ分野で活躍する研究者やクリエイター、ジャーナリストなど情報感度の高い人々で、デジタルコンテンツ EXPO での情報発信は訴求効果に優れています。

国内外のマスメディアが多数訪れ、活発な報道が期待できます。

デジタルコンテンツ EXPO2011 では、延べ 122 件の取材と 260 件の報道が実現しました。海外での報道も多く、優れた広報効果が期待できます。



Digital Content EXPO 2012

2012/10/25 Thu - 27 Sat

会場：日本科学未来館

主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会

参加プログラム

参加プログラムは、以下の条件にあてはまるもので、デジタルコンテンツ EXPO の趣旨に合致するものを公募によって選定します。

シンポジウム

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、国際的或いは先進的情報が得られるもの。

60分～90分程度の所要時間で、150～300名程度を集客できるもの。

セミナー

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、専門家または学生を対象に、専門的技術や知識の習得を促すもの。

60分～90分程度の所要時間で、30～100名程度を集客できるもの。

ワークショップ

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、主に児童・学生を対象に、体験を通じて学習への好奇心を養うもの。

30分～90分程度の所要時間で、20～50名程度を集客できるもの。

展示

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、展示会場において実験装置や映像等を実際に展示できるもの。

原則として3日間通期で展示でき、要員が常駐して説明を行うことができるもの。

ステージイベント

デジタルコンテンツに関連する技術またはクリエイティブ、ビジネスモデルのいずれかの内容を含むもので、展示会場に設置したイベントステージで実演を行うもの。

10分～60分程度の所要時間で、100～150名程度の観客にふさわしいもの。

映像上映

コンピュータグラフィックスやアニメーション、実写など、デジタルコンテンツ EXPO にふさわしい内容で、展示会場に設けたスクリーンで上映可能な作品。

10分～60分程度の所要時間で、100～150名程度の観客にふさわしいもの。

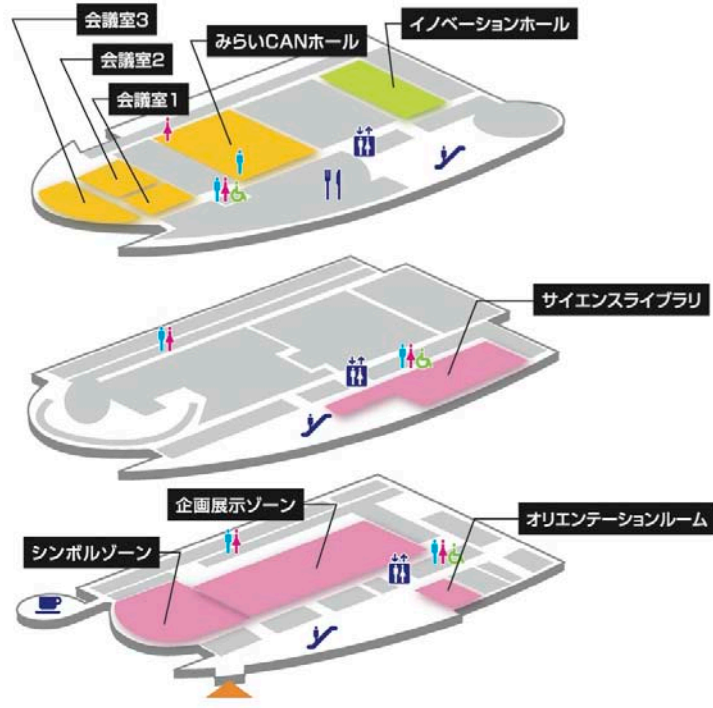
会場施設

日本科学未来館



施設名	規模	階数	シンポジウム	セミナー	ワークショップ	展示	ステージイベント	映像上映
みらいCAN ホール	300 席	7F	●					
会議室 1	54 席	7F		●	●			
会議室 2	84 席	7F		●	●			
イノベーションホール	196 m ²	7F		●	●			
サイエンスライブラリ	300 m ²	3F				●		
企画展示ゾーン	1,357 m ²	1F				●		
センターステージ	150 席	1F	●	●			●	●
オリエンテーションルーム 2	130 m ²	1F		●	●	●		

フロアMAP



会場写真

みらいCANホール	会議室 1	会議室 2
		
サイエンスライブラリ	イノベーションホール	センターステージ
		
展示ゾーン	オリエンテーションルーム 2	
		

参加費

参加プログラムは、開催に係る経費として、以下の費用をご負担いただきます。参加費には、施設利用費、光熱費、受講者受付、事前予約（希望者）、広報(Web、印刷物)等を含みます。

プログラム区分	規模	時間枠	参加費	
			第1期早割 (~2012/8末)	通常料金
シンポジウム	150~300名	2時間	294,000	367,500
セミナー	30~100名	2時間	100,000	126,000
ワークショップ	20~50名	2時間	100,000	126,000
展示	単位区画 9㎡	3日間	126,000	157,500
ステージイベント	100~150名	1時間	84,000	105,000
映像上映	100~150名	1時間	84,000	105,000

(消費税込み)

(シンポジウム・セミナー・ワークショップの時間枠 (予定))

- ① 11:00~13:00
- ② 13:00~15:00
- ③ 15:00~17:00

※準備・撤去含む

(ステージイベント、映像上映の時間枠 (予定))

- ① 10:00~11:00
- ② 11:00~12:00
- ③ 12:00~13:00
- ④ 13:00~14:00
- ⑤ 14:00~15:00
- ⑥ 15:00~16:00
- ⑦ 16:00~17:00

※準備・撤去含む

(展示の時間枠 (予定))

10:00~17:00

-展示費用の含まれるもの

- ・ 単位区画9㎡のスペース
- ・ 電源コンセント1個 (単相 100V15A 差込み2口)
- ・ 1次側電気工事費及び電気使用料
- ・ 出展社証 (5枚)、搬入・搬出車両証
- ・ 印刷物・WEBなどへの社名記載

※出展小間のレイアウトは事務局にて決定させていただきます。

参加条件

参加プログラムの条件は以下のとおりです。

1. 参加が可能な機関等

法人格を持つ企業・団体となります。国内・国外は問いません。

2. 申込方法

参加をご希望の場合は、申込書（別紙【様式1】）に必要事項をご記入の上、メールにてご提出ください。

複数のプログラムをお申し込みになる場合は、プログラムごとに1枚ずつ提出してください。

3. 提出先

デジタルコンテンツ EXPO 2012 事務局（一般財団法人デジタルコンテンツ協会 内）
apply@dcexpo.jp

担当：舟見

4. 参加の決定

申込のあった企画は、デジタルコンテンツ EXPO 事務局において審査の上、決定いたします。

参加プログラムの実施日時は、他のプログラムとの調整によって決定します。ご希望に添えない場合もありますのであらかじめご了承ください。

5. テーマ

以下のいずれかに該当するテーマを対象とします。

- ・ デジタルコンテンツ分野における「技術」のうち、先進性、独創性に優れるもの
- ・ デジタルコンテンツ分野における「作品」のうち、芸術性、独創性に優れるもの
- ・ デジタルコンテンツ分野における「ビジネスモデル」のうち、市場性、独創性に優れるもの
- ・ デジタルコンテンツ分野の「人材育成」に資するもの
- ・ デジタルコンテンツ分野の「国際交流」に資するもの
- ・ デジタルコンテンツ分野の「ビジネスマッチング」に資するもの
- ・ その他、主催者が認めたもの

6. 参加基準

[1] 実施条件

- ・ 会場の展示施設において展示を行うことができるもの
- ・ 会場の上映施設において上映を行うことができるもの
- ・ 会場の会議施設においてシンポジウムやセミナー、ワークショップ等を行うことができるもの
- ・ その他、主催者が認めたもの

[2] 費用負担

- ・ 参加プログラムの実施・運営に係る人件費、運搬費、旅費、コンテンツ制作費等の経費を参加者が負担できるもの
- ・ その他、主催者が認めたもの

[3] 排除事項

- ・ 公序良俗に反するもの
- ・ 青少年の健全な育成に反するもの
- ・ 反社会的勢力が関与するもの
- ・ 国際社会での関係性において不適切なもの
- ・ その他、社会通念に照らし主催者が不適切と判断したもの



Digital Content EXPO 2012

2012/10/25 Thu - 27 Sat

会場：日本科学未来館

主催：一般財団法人デジタルコンテンツ協会

来場者実績

デジタルコンテンツEXPO2011
日程：2011年10月20日(木)～22日(土)
場所：日本科学未来館
来場者数：20,516名(延べ)

広報実績

取材件数：3日間延べで122メディア、152名
露出件数：(平成23年11月25日現在)
・TV 17件 (NHK総合(3)、日本テレビ(9)、フジテレビ、テレビ東京、東京MXテレビ)
・ラジオ 3件 (文化放送(2)、NHK)
・新聞 29件 (朝日、読売、産経、東京、SANKEI EXPRESS、Fuji Sankei Business i、映像、日刊工業、日刊スポーツ、夕刊フジ、等)
・雑誌 8件 (秋ぴあ2011首都圏版、メトロポリス、週刊ASCII(2)、週刊女性等)
・WEB 206件
・合計 260件

お問い合わせ

デジタルコンテンツEXPO2012事務局
一般財団法人デジタルコンテンツ協会
〒102-0082 東京都千代田区一番町2-3番地3 日本生命一番町ビルLB
Tel：03-3512-3903 Fax：03-3512-3908
apply@dcexpo.jp
担当：舟見、大森